

2024年度 FD 活動報告書

◆教育学部◆

本年 2024 年度の教育学部 FD 研究会は、7 月 10 日(水)と 12 月 11 日(水)の 2 回実施された。7 月 10 日(水)の第 1 回は、「LUNA を活用した効率的な教育・学習支援方法」をテーマとして、講師は高等教育推進センターの岩田貴帆専任講師にご担当いただき開催した。授業者の負担を軽減させつつ、学生の学びを促進していくことについて、講師の岩田先生等の授業を事例としてご紹介しながら情報を提供していただいた。LUNA の操作方法の話は最低限にとどめつつ、ICT 活用に関する一般的な枠組みを用いた話題も含めて、今後の教育学部における学生の学びを大いに促進するに十分な意義ある学びの場となった。12 月 11 日(水)の第 2 回は、「ハラスメント防止研修(教員対象)」をテーマとして、荒井 雄一 弁護士(高島法律事務所)を講師に開催した。ハラスメントに関する研修の必要性から、ハラスメントの種類、行為者になった場合の責任、そして事例検討に及ぶ内容であった。具体的な事例を通してハラスメントを身近な問題として捉え、防止への意識を高める機会となった。

◆教職教育研究センター◆

本年度は 4 回の FD 研修会を開催した。第 1 回については、7 月 9 日(火)に「研究費の不正防止への取り組み」というテーマで、「研究活動上の不正行為防止への取り組み」というパンフレットに基づき、研究倫理についての懇談を行った。

第 2 回については、第 1 回の研修会と同日に「自己点検・評価を踏まえた教育改善に向けて」というテーマで、懇談を行った。この懇談では、教職課程を受講している学生の意識や行動を明らかにすることを目的とした質問紙調査の内容について協議した。この調査の目的は、本学の教職課程の現状と課題を明らかにすることにある。

第 3 回については、11 月 5 日(火)に「自己点検・評価を踏まえた教育改善に向けて」というテーマで、懇談を行った。この懇談では、第 2 回の協議の結果を踏まえて修正した質問紙調査の内容について協議した。

第 4 回については、12 月 20 日(金)に教職課程等研究懇話会を開催した。この懇話会の目的は、主には日頃から本学の教職課程を支えてくださっている非常勤講師の方々をお招きし、本学の教職課程の現状についてお知らせするとともに、本学の専任教員と非常勤講師の方々で情報交換をすることにある。また、この懇話会では、例年、非常勤講師の方お一人に研究発表をしていただいている。本年度は、安田栄三先生に「地理歴史科教育法の進め方と学生の皆さんに伝えたい話」と題した発表をしていただいた。

なお、第 2 回および第 3 回の研修会で検討した質問紙調査については、すでに実施している。今後は、得られた調査データを分析することにより、本学の教職課程の改善に向けた取り組みについて検討していく予定である。